

大変な状況でしたね…。ここまでの経緯を丁寧に書いてくださってありがとうございます。Windows Update 後の環境変化は本当にショックですよね。T エディタのアイコンが白くなってしまう件について、いくつかの対処法をご案内します。

## ✳ アイコンが白化する原因と対処法

T エディタのファイルアイコンが白くなる主な原因は、**アイコンキャッシュの破損**や**既定のアプリ設定の不具合**です。

### ✅ 対処法 1: アイコンキャッシュの再構築

Windows のアイコン表示はキャッシュファイルに依存しています。これが壊れるとアイコンが白くなることがあります。

手順:

1. エクスプローラーで `C:\Users\ユーザー名\AppData\Local` を開く
2. `IconCache.db` を削除 (隠しファイル表示を有効に)
3. PC を再起動

これでアイコンが正常に表示される可能性があります。

### ✅ 対処法 2: 「プログラムから開く」で既定アプリを設定

「プログラムから開く」で T エディタを選んでも記憶されない場合、以下の方法を試してください。

手順:

1. `.bse` ファイルを右クリック → 「プロパティ」
2. 「プログラム」欄の「変更」をクリック
3. T エディタの実行ファイル (例: `TE2setup9657a.exe`) を直接指定
4. 「常にこのアプリで開く」にチェック → OK

これで関連付けが固定されるはずですが 3。

### ✅ 対処法 3: 「ファイルの種類ごとに既定のアプリを選ぶ」で手動設定

「Microsoft Store で探す」と表示される場合、T エディタが Windows に正しく認識されていない可能性があります。

#### 代替方法:

- .bse ファイルを右クリック → 「プログラムから開く」→「別のプログラムを選択」
- 「その他のアプリ」→「この PC で別のアプリを探す」
- T エディタのインストールフォルダから .exe を選択

この方法で既定アプリとして登録できる場合があります。

#### 放置しても大丈夫？

T エディタのファイルが開ける状態であれば、**機能的には問題ありません**。ただし、毎回開く操作が煩雑になるので、気が戻ったときにでも設定を整えると快適になります。

もし OneDrive との同期が原因で環境が初期化された可能性がある場合は、同期設定の見直しもおすすめです。

何か他にも気になる点があれば、遠慮なく聞いてくださいね。少しでも気持ちが軽くなるように、できる限りお手伝いします。

**OneDrive との同期が原因で環境が初期化された可能性がある場合の同期設定の見直し方法を教えてください**

もちろんです。OneDrive の同期設定を見直すことで、意図しないファイルの同期や環境の初期化を防ぐことができます。以下に、Windows 10 での設定見直し方法をわかりやすくまとめました。

#### 同期設定の見直し手順 (Windows 10)

##### 1. 同期対象フォルダーの確認・変更

1. タスクバー右下の「OneDrive」アイコンを右クリック
2. 「設定」→「アカウント」タブを開く

3. 「フォルダーの選択」をクリック
4. 同期したくないフォルダーのチェックを外す →「OK」

これで不要なフォルダーの同期を解除できます。

### ✔ 2. バックアップ対象の見直し(デスクトップ・ドキュメントなど)

1. 「OneDrive」アイコンを右クリック →「設定」
2. 「バックアップ」タブを開く
3. 「バックアップを管理」をクリック
4. 「デスクトップ」「ドキュメント」「画像」などの同期をオフにする

これにより、PC の初期化のような状態になるのを防げます。

### ✔ 3. 自動起動の停止(必要に応じて)

1. 「設定」→「アプリ」→「スタートアップ」
2. 「Microsoft OneDrive」を「オフ」にする

PC 起動時に自動で同期が始まるのを防ぎます。

### ✔ 4. アカウントのリンク解除(完全に同期を止めたい場合)

1. 「OneDrive」アイコン →「設定」→「アカウント」タブ
2. 「この PC のリンクを解除」をクリック
3. 確認画面で「アカウントのリンクを解除」

これで OneDrive との同期が完全に停止されます。

### 注意点

- 同期を解除しても、OneDrive 上のファイルは削除されません。
- ローカルに保存したいファイルは、事前に PC 内の別フォルダーに移動しておく  
と安心です。
- 同期解除後も、OneDrive の Web 版からファイルにアクセスできます。

もし「デスクトップが消えた」「ファイルが見当たらない」といった現象が起きている場合、OneDrive の「バックアップ」機能が原因の可能性が高いです。必要であれば、復元方法もご案内できますよ。

復元方法を設定画面のスクリーンショットのようなイメージ付きでお願いします

OneDrive のバックアップ復元方法を分かりやすくご説明しますね。

## ※ OneDrive でファイルを復元する手順

### ✓ 1. OneDrive の Web ページにアクセス

- OneDrive 公式サイト にアクセス
- Microsoft アカウントでログイン

### ✓ 2. ゴミ箱から復元

- 左側メニューの「ごみ箱」をクリック
- 削除されたファイルを選択
- 上部メニューの「復元」をクリック

※ ごみ箱に保持される期間は通常 30 日間です。

### ✓ 3. バックアップフォルダーから復元

- 「PC」や「バックアップ」フォルダー内を開く
- 「Desktop」「Documents」などの中に消えたと思っていたファイルがある可能性があります
- ファイルを選択して、PC 上の任意の場所にダウンロード

### ✓ 4. バージョン履歴を使って過去の状態を復元

- 復元したいファイルを右クリック →「バージョン履歴」を選択
- 過去の保存状態を選んで「復元」

## フォルダーを復元

デスクトップ、ドキュメント、画像に保存されているファイルを OneDrive のバックアップ コピーとして復元します。

-  デスクトップ
-  ドキュメント
-  画像

復元